

北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
©北海道新聞社2012

北大移動実験教室



プラスチックで自作したオカリナを吹く子どもたち

科学の魅力いっぱい

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

ぶんぶん号

この速報は道新ぶんぶん号で作っています。マイクロボバスにデジタルカメラ、パソコン、プリンターなどを積みイベント会場で速報や号外を作る北海道新聞社の多目的取材、宣伝車です。自家発電機を積み災害現場でも号外を発行することができます。

小中高生ら面白さと体感

北大の研究者や学生らによる「移動理科実験教室」(北海道新聞社協賛)の今年最後を飾る「理科から科学へ」北大生とともに「ほくたいサイエンスキャラバンin北大」が2日、札幌市北区の北大学術交流会館で開かれました。ノーベル化学賞を受賞した鈴木章北大名誉教授が発見した有機化合物の合成法「鈴木カップリング」を再現する実験などに、詰めかけた小中高生らは目を輝かせました。

北大各学部の学生らがスライム作りや光通信、魚の解剖、分光器作り、氷床を使った実験、顕微鏡を用いた絵画鑑賞など、19のブースが店開き。食物の糖度を

測定したり、水に電気を通したりする実験などが繰り広げられました。また、高校理科部ブースでは、高校生たちがオカリナ作り(札幌北高)などを行いました。

参加した子供たちは次々と各ブースを回って真剣に見入り、実際に自分でも実験を体験し、理科の楽しさを味わいました。

移動理科実験教室は「子どもたちに科学の楽しさを肌で感じてほしい」との願いを込めて、北大の女性研究者支援室(有賀早苗室長)が中心となって2006年からスタート。今年が北海道新聞社が創刊70周年記念事業として協賛し、道内各地で開催しました。



体を守るタンパク質の働きを試す実験





光、水、電気…不思議を紹介



1 液体洗剤を入れるとどうなるかな？ 2 南極の氷や映像を紹介する低温研 3 紙コップが回転しながら飛んでゆく(札幌北高) 4 水に電気を流してみよう(理学部) 5 LET'S光～通信～(理学部) 6 生体防御の最前線&光で動く！世界で一番小さなポンプ(理学部) 7 蛍光色素の面倒くさ

くない実験(環境科学院) 8 つついてバラして食べちゃう解剖講座(水産学部) 9 鉄子の部屋～金属っておもしろいのね！(工学部) 10 金属の反応と電池(札幌西高) 11 電池のいろいろなラジオをつくろう(札幌平岡高) 12 北海道大学美術館～顕微鏡でのぞく小さな世界(情報科学研究科)

